

第4回委員会の指摘事項とその対応について

資料-3

表-3.1 第4回委員会の指摘事項とその対応一覧表

番号	質問および意見	質問に対する対応
(1) 地区の概況（補足）		
①	浚渫等でほぼ間違いなく土砂投入されていると推定される場所、及び土砂投入されている可能性がある場所、墳砂箇所、公共施設等の被害箇所を重ねることによる被害状況の整理を行うことがよいと思われる。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-3
(2) 公共的建物の現地調査結果（補足）		
②	被害状況一覧表に建造物の構造、階数、床面積、ヒアリングの有無の記述が欲しい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-3
③	地盤の液状化に対する杭の抵抗性を見るために、液状化被害の有無と杭の長さを整理して行って欲しい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-3
(3) 地質調査中間報告		
④	佐原市街地の想定地質断面図において、水平方向に拡大した図を作成してほしい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-4
⑤	佐原市街地の想定地質断面図において、ボーリング調査を数多く行っているため、さらに想定地層断面図を作成してほしい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-4
⑥	想定地層断面図の凡例の情報の充実をお願いしたい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-4
⑦	小見川市街地地区でさらに追加の調査を行う場合には、液状化した地区とそうでない地区のそれぞれについて情報が欲しいので、住金団地の被害が少なかった位置で実施して欲しい。	ボーリング調査以外の方法（ピエゾドライブコーン試験等）を含めて対応可能かどうか検討中である。(事務局) →資料-3
⑧	液状化試験を行った箇所において試験値と換算値を比較し、整合を取れているか確認して欲しい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-4
(4) 液状化の検証結果		
⑨	有効応力解析についても、できれば2~3箇所を実施して比較してほしい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-5
⑩	各地区での地震応答解析の入力地震動となる引き戻した時刻歴も示しておいてほしい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-5
⑪	強震記録がとれている市役所で液状化判定を行って欲しい。また、有効応力解析を行う場合には、この箇所において液状化判定を比較することが望ましい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-5

(5) 再液状化の検討結果		
⑫	タイプ1の地震動について、主要動の継続時間が長すぎるのではないか。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-3
(6) モデル地区の設定について		
⑬	佐原市街地地区では、側方流動が生じない地区もあったほうが良い。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →資料-3
(7) 液状化対策工法の検討について		
⑭	実測 Dcy と液状化の検証結果による Dcy（計算値）の対比を示して欲しい。この結果から、再液状化の対策を行った場合の Dcy（計算値）が実際にはどのくらいの Dcy になりそうかを示して欲しい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →別冊資料-4
⑮	対策工の設計をタイプ1、タイプ2で行うのは妥当と思うが、市民説明用に簡易計算シートなどの計算結果が出ているものは、タイプ3の検討結果を見せることで、すべての地震動に耐えられるわけではないことを説明することが望ましい。	ご指摘の通り対応した。(事務局) →別冊資料-4
⑯	神栖市実証実験中の不飽和化工法を具体的に調べて欲しい	神栖市ホームページから得られる情報だけでは不足するため、香取市から神栖市に直接確認中である。(事務局)

以上

佐原市街地地区

凡例

公共施設被害

- 上水道
- 下水道
- 用水
- 道路

● 画像判読による噴砂箇所

□ 噴砂の画像判読範囲

明治18年地形図との比較での開発履歴

□ : 水域部分の埋立てや盛土範囲

■ : 陸域部分の埋立てや盛土範囲
(土地改良の客土を含む)

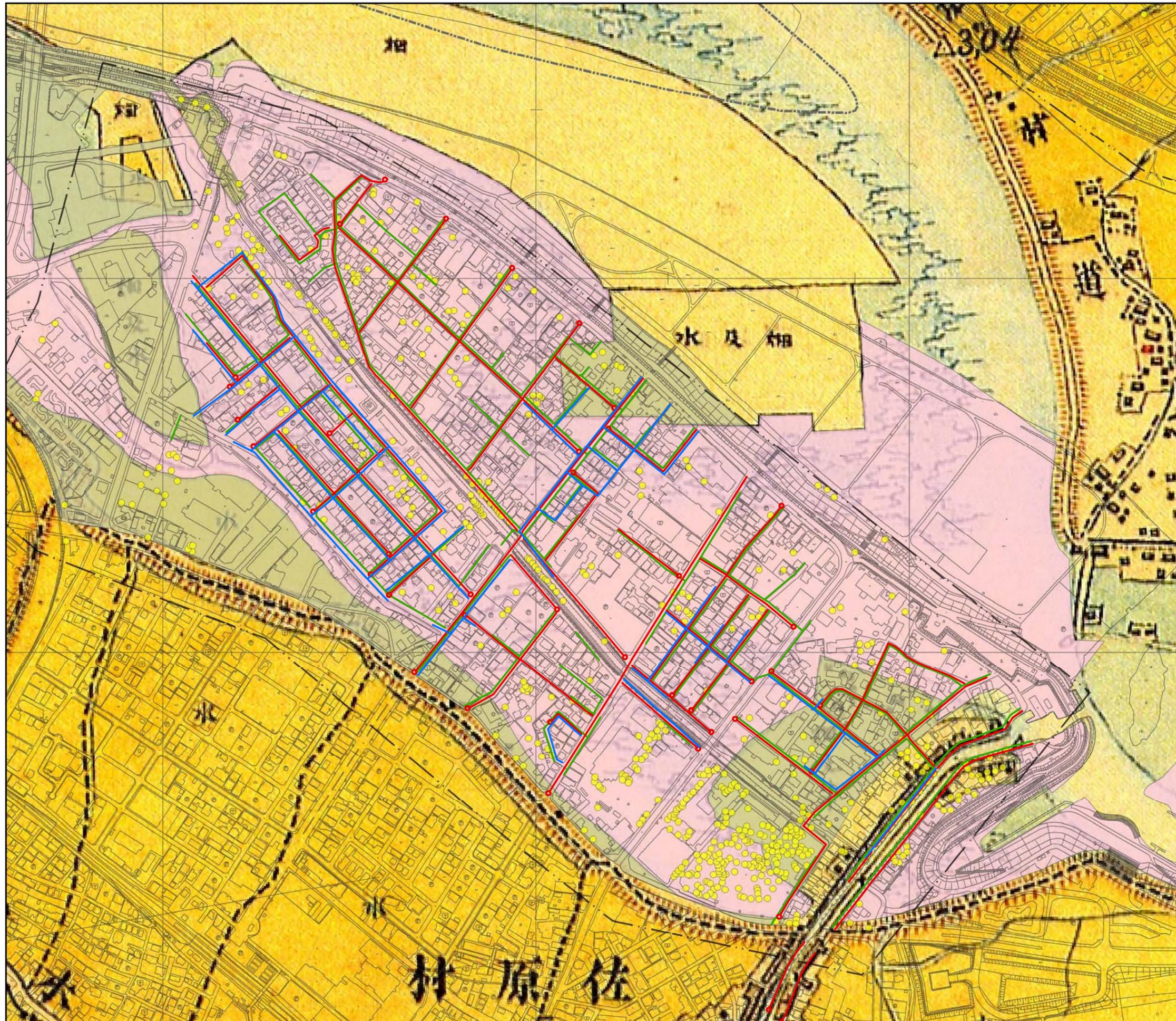
基図：現在の地形図



1:5,000

0 50 100 150 200 250 m

液状化対策検討範囲における
公共施設被害位置及び
土砂投入推定範囲図



佐原市街地地区

凡例

公共施設被害

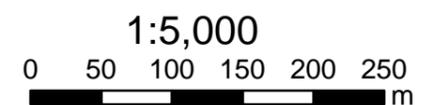
- 上水道
- 下水道
- 用水
- 道路

- 画像判読による噴砂箇所
- 噴砂の画像判読範囲

明治18年地形図との比較での開発履歴

- : 水域部分の埋立てや盛土範囲
- : 陸域部分の埋立てや盛土範囲 (土地改良の客土を含む)

基図：現在の地形図
及び明治18年地形図



液状化対策検討範囲における
公共施設被害位置及び
土砂投入推定範囲図

小見川市街地地区

凡例

公共施設被害

- 上水道
- 下水道
- 用水
- 道路

● 画像判読による噴砂箇所

□ 噴砂の画像判読範囲

明治18年地形図との比較での開発履歴

□ : 水域部分の埋立てや盛土範囲

■ : 陸域部分の埋立てや盛土範囲
(土地改良の客土を含む)

基図：現在の地形図



1:5,000

0 50 100 150 200 250 m

液状化対策検討範囲における
公共施設被害位置及び
土砂投入推定範囲図

小見川市街地地区

凡例

公共施設被害

- 上水道
- 下水道
- 用水
- 道路

● 画像判読による噴砂箇所

□ 噴砂の画像判読範囲

明治18年地形図との比較での開発履歴

□ : 水域部分の埋立てや盛土範囲

■ : 陸域部分の埋立てや盛土範囲
(土地改良の客土を含む)

基図：現在の地形図
及び明治18年地形図



1:5,000

0 50 100 150 200 250 m

液状化対策検討範囲における
公共施設被害位置及び
土砂投入推定範囲図